

ベネズエラ市民が米爆撃を非難し、マドゥロの解放を要求



デモ参加者はアメリカの爆撃を非難し、マドゥロの復帰を要求

[Venezuelans Take to the Streets to Denounce US Bombings, Demand Maduro's Release - Venezuelananalysis](https://www.venezuelanalysis.com/international-analysis/26033/venezuelans-take-streets-denounce-us-bombings-demand-maduros-release)

カラカス、2026年1月5日(venezuelanalysis.com)-ベネズエラの社会運動と政党は、1月4日にカラカスで大規模な集会を開き、米国の軍事攻撃とニコラス・マドゥロ大統領の拉致に反対しました。

4日のデモ行進はベネズエラの首都中心部で行われ、ミラフローレス大統領宮殿の近くで終了しました。

デモ参加者は手作りのプラカードを掲げ、1月3日未明に米特殊作戦チームに拉致されたマドゥロと妻シリア・フローレスの解放と帰還を求めました。米軍は前日カラカスおよび周辺州の複数の軍事施設を爆撃しました。

ベネズエラ当局はまだ被害や死傷者の報告をしていませんが、非公式な情報筋によれば少なくとも 80 人が死亡したとされています。

ベネズエラ副大統領デルシー・ロドリゲスが最高裁の判決を受けて暫定的に大統領職を引き継ぎました。1月4日の閣議後、ロドリゲスは米国に対し主権の尊重を求め、ワシントンに対して「協力の議題」への合意を要請しました。





（以上の写真は、ローマ・アリエシュ氏撮影）

下テレスル

